

研修会2

専修大学北上高校におけるアクティブラーニングコーススポーツ専攻カリキュラムと総合型地域スポーツクラブの取り組み

日程 令和5年1月28日(土)

場所 専修大学北上高等学校

参加所員 佐藤 満、吉田 清司、渡辺 英次、富川 理充、齋藤 実

目的

専修大学北上高等学校は、2022(令和4)年度入学生から、普通科を2コース5専攻と編成、また商業科はグローバルビジネス科に改めるなどカリキュラムを大きく改革した。中でも、普通科アクティブラーニングコーススポーツ専攻は、スポーツ医・科学も含めた多岐にわたる先進的な教育内容となっており、地域から注目されているところである。また、2021年には同校の施設を活用した総合型地域スポーツクラブ「SVきたかみ」を設立した。学校法人が設立母体となるクラブは岩手県内初で、部活動の枠を超えたスポーツを選択できる場づくり、子どもから高齢者までスポーツを続けられる仕組みの構築、スポーツを担う人材育成などを見据えて活動を行なっている。

そこで、同校が取り組むカリキュラム改革や地域において実践している世代を超えたスポーツ交流、スポーツを担う人材育成の事業についてヒアリング調査を実施し、スポーツ研究所との連携の可能性を探る。

研修内容

1) 普通科アクティブラーニングコーススポーツ専攻の生徒および教員との交流会

生徒と教員約100名と対面形式にてスポーツ医・科学に関する交流会(情報交換会)を行った。交流会では、専修大学、およびスポーツ研究所の教員について紹介した後、生徒からの質問に対して研究所所員が回答する形式で行われた(写真1)。生徒からはスポーツ医・科

学やコーチングに関して質問が途切れなく質問があげられ、活発な情報交換会となった。情報交換会の様子については、同校のニュースレターで紹介された。(資料)

2) 専修大学北上高校のカリキュラムと総合型地域スポーツクラブ等に関する情報交換会

高校側から、2022年から開始された新たなカリキュラムについて紹介された。普通科は「ディープラーニングコース」と「アクティブラーニングコース」に改変され、「アクティブラーニングコース」は2年生から学校設定科目(2年生:週4時間、3年生:週6時間)の専門的な学修を行う。「アクティブラーニングコース」は「福祉・保育・幼児教育専攻」、「情報ビジネス専攻」、「スポーツ専攻」の3専攻があり、「スポーツ専攻」では2年次に「スポーツ概論」と「トレーニング論」、3年次に「スポーツ科学特論」と「スポーツ総合演習」の学修を行う。これら

のカリキュラム内容および展開においては、主に担当する北上高校体育科教員に加え、当該カリキュラムの専門教員が求められる部分があるとし、カリキュラムの一部の講師をスポーツ研究所所員が担当する可能性についても意見交換がなされた。(写真2)

3) 専修大学北上高校の施設および北上市の教育環境調査

新校舎についての紹介と現在の施設の見学、および高校周辺の地域の教育環境についてヒアリング調査を行った。北上高等学校では2023年8月に新校舎が完成し、地域とつながるアクティブホールなどの設置が予定されている。生徒の未来を創る学びの場として、ICTの効果的活用と連携・協働の学びが自然に生まれるような構造になっており、地域防災拠点としての機能も有する。新たなカリキュラムの実践拠点として明確なビジョンが伺えた。(写真3)



資料)「普通科アクティブラーニングコーススポーツ専攻の生徒および教員との情報交換会」のニュース(専修大学北上高等学校 web サイトより引用)



専修大学北上高校アクティブラーニングコーススポーツ専攻担当教職員と所員(前列左より3人目が阿部伸校長)



写真1) 専修大学北上高校の部活動所属生徒とスポーツ研究所所員との交流会



写真2) 専修大学北上高校のカリキュラムと総合型地域スポーツクラブ等に関する情報交換会



写真3) 現在の専修大学北上高校校舎(上段)と新校舎イメージ(下段)